



新町保育園広報誌

第6号

平成24年 11月



特別保育



新町保育園では、他園があまり実施していない保育もおこなっています。これを「特別保育事業」と呼んでいます。「地域の子どもたちとその家族の幸せを守り、さらにそれを強めていく」これが新町保育園の基本理念です。保育園は、子どもたち、その家族、そして地域と寄り添い「地域の中の保育園」としてできる限り「地域の人々の幸せを強めていく」使命があると思います。長時間保育や休日保育、病後児保育等が少しでも日々忙しく働いている家族や子どもたちの支援になればと考えています。

病後児保育（体調不良児対応型）

保育園では「ひまわり保育」と呼んでいます。専任の看護師が登園後に熱が出てしまった場合等に「ひまわり保育室」で個別に保育しています。熱が出てしまった場合はやはり早く迎えに来て頂くのが原則ですので協力をお願いしています。高崎市内の認可保育園でこの保育を実施しているのは81園中、8園で全体の約10%となっています。



ひまわり保育室での様子

長時間保育

新町保育園では7:00～20:00の13時間保育をしています。この保育時間は市内でも2番目に長い保育時間です。最近では20時まで子どもがいることはあまりありませんが、体制は整えています。また、朝7時からの保育を実施している市内の保育園は17園で、全体の約21%の実施状況です。

休日保育

新町保育園が自慢できる特別保育事業です。高崎市内では新町保育園1園のみが実施しています。(前橋では4園) 園舎を増築した7年前から実施していて、対象は市内の認可保育園に入所している全児童です。遠くからは旧箕郷町から来ている児童もいます。保育時間は8:00～19:00で、利用料は給食とおやつを含め1,800円です。(前橋市は3,000円) 特に今年度は希望者が増え、申込みが多い祝日には満員で断る場合もあります。



日曜日の給食の様子



祝日は子どもも多くなります

一時保育（一時預かり）

一時保育は保護者の不定期な就労や通院、リフレッシュ等、特に理由は問いません。幼稚園に通園している児童も対象となります。新町保育園では一時保育専用の部屋がありませんので、原則として年齢にあった保育室で保育をしています。3才未満児の場合1日1～2人で、利用料は給食とおやつを含め1日2,000円です。市内では14園が実施しており、全体の17%の実施状況です。



一時保育は1対1または1対2の保育です

お泊まり会での川あそび

みどり組（年長児）が8月におこなったお泊まり会で、初めて「川あそび」を体験しました。みんな冷たい川に大喜び。場所は倉沢地区の相間川です。川あそびを楽しんだ後は近くの「ふれあい館」のレストランで「自分が選んだお昼ごはん」をおいしく食べ、園に戻りデイのお風呂やミステリーツアー、キャンプファイヤー等で楽しく過ごしました。



何かいるかな？

川あそびは楽しいね！

どんぐり拾い



どんぐりがいっぱい落ちているよ (あか組：2歳児)



もも組は玉村の運動公園でどんぐりを拾いました

10月下旬は園のどんぐり拾いです。園バスで2クラス毎、3日間に分けて出掛けました。もも組(1・0歳児)は玉村の公園で「マテバシイ」という大きなどんぐりをたくさん拾いました。きいろ組(年少)・あか組(2歳児)とみどり組(年長)・きみどり組(年中)は群馬の森へ。北風が吹いた後だったのでしたら所どんぐりいっぱい。でも目当ては丸くて大きな「クヌギ」のどんぐりです。散歩中の年配の方からのプレゼントもあり、子どもたちは入れ物いっぱいにして満足そう。実りの秋を楽しみました。



どんぐりを拾った後はバランス歩き (きみどり組：年中児)



どんぐりを入れる箱も作ったよ (きいろ組：3歳児)

動物ふれあい教室(みどり組：年長児)

「動植物のいたわり」の体験学習のため今年度初めて行ないました。獣医さん4人とウサギ4羽が来園し、獣医さんに抱きかたを教わり順番でだっこしました。また、口や手、足や尾の様子もていねいに教えて頂きました。どのウサギもおとなしくかわいかったです。



うさぎかわいいね

